

HUMAN CITY

# KUMAMOTO



くまもと  
'94 市勢要覧



KUMAMOTO  
CITY

'94  
市勢要覧

C  
O  
N  
T  
E  
N  
T  
S

(題字……熊本市長 田尻靖幹)

写真説明

暗がり門灯籠

この燈ろうは、天守閣前千畳敷大広間の下をくぐりぬける通路(暗がり門)につるされていたものの一つで昼夜百匁(約400g)のローソクを灯していたといわれている。

熊本市民愛市憲章	1	健康文化	48
市木・市花・市鳥	2	雇用福祉	49
発刊のことば	3	消費者行政	50
ヒューマンシティくまもと	4	男女共同参画社会	51
熊本市のあゆみ	6	学校教育	52
名誉市民	14	学校施設	53
地域と気象	15	社会教育	54
人口	16	青少年の健全育成	55
火の国フェスタくまもと'93	18	創造的な人づくり	56
水と緑の人間環境都市を目指して		活力あふれる交流拠点都市を目指して	
良好な環境づくり	21	国際交流	58
緑と水	22	観光・コンベンション	59
公害防止	23	流通・情報拠点	62
清掃	24	中小企業	63
防災	26	魅力ある商店街	64
消防	27	工業	65
交通安全	28	農林水産業	66
市電・市バス	29	風格ある文化創造都市を目指して	
公園緑地	30	歴史文化	68
住宅	31	史跡・文化財	69
上水道	32	都市景観	70
下水道	33	市民文化	71
道路	34	行政	72
市街地開発	36	熊本市行政機構図	73
基幹交通	38	市議会	74
いきいきとした市民福祉都市を目指して		財政	76
地域福祉	40	広報・広聴	78
高齢者福祉	41	市民のくらし	79
心身障害者福祉	42	熊本市のご案内	80
児童・母子福祉	43	資料編	81
社会保障	44	市内の主な官公署	92
保健医療	46	熊本市歌	



熊本市章

ひらがなの「く」の字を  
図案化したもので、市民の  
調和を基とし、たくましく  
発展する熊本市の姿を太い  
円で示したものです。

熊本市民  
愛市憲章

品位ある市民の  
誇りのために

私たち熊本市民は 清潔で住みよい街をつくりましょう

私たち熊本市民は 郷土の自然や文化財を大切にいたしましょう

私たち熊本市民は 時間を正しく守りましょう

私たち熊本市民は 交通道徳を重んじましょう

私たち熊本市民は 互いにあたたく交わり旅行者を親切に迎えましょう

昭和35年5月11日制定



## THE SYMBOL TREE

IN KUMAMOTO

●市木 イチョウ(イチョウ科)

熊本市民には熊本城が銀杏城といわれているようになじみ深く、強健で樹齢が長く、市街地の街路に多く植栽され、独特な尖円錐形の樹形をつくり春の緑陰、秋の黄葉とその美しさでよく知られている。

## 市木



## THE SYMBOL FLOWER

IN KUMAMOTO

●市花 肥後椿(ツバキ科)

江戸時代から細川藩の庇護を受け、藩士をはじめ社地の豪族等の愛好者によって広められ改良を重ねて、清雅枯淡の味わいある銘花となったといわれている。肥後椿の特色は薄色の花卉が主流でよく整った一重咲きで、中心に金糸銀糸のような色鮮やかな太い雄しべが梅芯のように盛りあがるところにある。

## 市花



## THE SYMBOL BIRD

IN KUMAMOTO

●市鳥 シジュウカラ(シジュウカラ科)

全長約14.5cmで、美しい澄んだ声でさえずり、多量の害虫を食べ、緑を守る益鳥として市民に親しまれている。金峰山や立田山、託麻三山など森に多く生息し、白い胸に黒ネクタイ状の帯が目立つ可愛い姿で、四季を通じて観察される。

(写真は、東海大学出版会提供フィールド図鑑より)

## 市鳥

発刊のことば

Human City  
くまもと

明治22年の市制施行以来、熊本市は、水と緑の豊かな自然と先人が築いた輝かしい伝統、文化を受け継ぎつつ、また、平成3年2月には旧飽託郡4町との歴史的な大合併を実現し、今や、人口64万人を超える九州中央の拠点都市として着実に発展してまいりました。

私は、このふるさと熊本が、未来に向かってさらに大きく飛躍するよう、これまで質の高い社会資本の整備、地域経済の活性化、環境の保全、福祉の充実、文化スポーツの振興等々に全力を傾注して参りました。そして、昨年10月、これまで培った都市の総力を結集して4町合併記念「火の国

フェスタくまもと'93」を45日間にわたり熊本城一帯で開催しました。

この火の国フェスタは、厳しい不況下での開催でしたが、期間中、会場は大変な賑わいを見せ、124万人を超える入場者と400億円強の経済波及効果をもたらしました。海外の友好姉妹都市から多くの皆さんがお見えになりましたし、子供たちからお年寄りまで幅広く楽しんでいただいたところでもあります。また、このフェスタに合わせた熊本城の大改修、旧細川刑部邸の復元、幸島公園地下駐車場や地下通路の完成は、都市の景観、風格を大きく伸展させました。

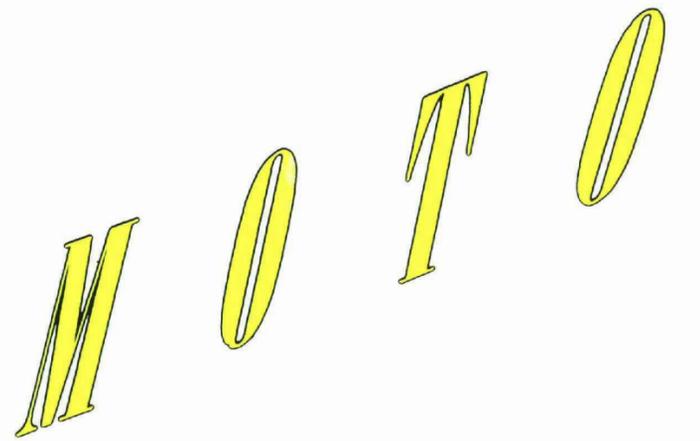
そして、平成6年度は、長引く不況を克服しつつ、この火の国フェスタで盛り上がった発展への気運をさらに加速させる重要な年があります。そこで、景気浮揚のため積極的に公共事業を推進する一方、国際交流会館のオープンや交通事業、水道事業の70周年事業、さらには、未来を担う子供たちを主体としたイベント等を有機的・集中的に展開してまいります。

また、環境総合研究所、子ども文化施設、

健軍文化施設の建設やエンゼル基金の創設など、環境、福祉、文化、人づくりに意欲的に取り組むとともに、J-Rの高架化、熊本港背後地整備、南熊本駅、上熊本駅周辺における拠点整備など、市街地整備にも引きつづき力を注いでまいりますので、市民の皆様の一層の御支援、御協力をお願いいたします。この市勢要覧は、伸びゆく熊本市の姿を収録したものであり、市政への一層のご理解をお深めいただければ誠に幸いに存じます。

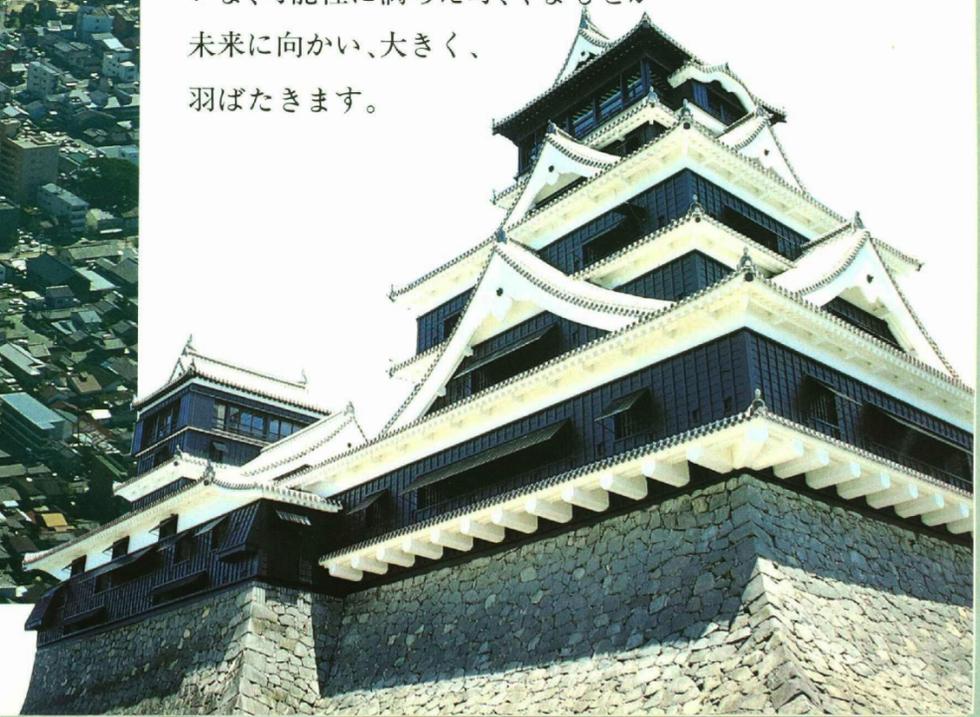
平成6年3月

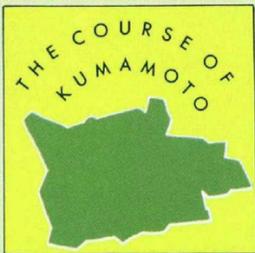
熊本市長 田尻靖幹



## ヒューマンシティ くまもと

海を越え、空を飛び、人が行きかう。  
経済が、文化が、確かに大地に実を結ぶ  
いま、可能性に満ちた町、くまもとが  
未来に向かい、大きく、  
羽ばたきます。





# 熊本市の あゆみ

熊本は、昔から「火の国」と呼ばれてきました。大化の改新のあと、奈良時代に入って現出水校区内に国府がおかれ、ここを中心に聚落が形成されるようになりました。このち、平安・鎌倉時代を経て室町時代になると、菊池一族である出田秀信が、はじめて熊本に千葉城を築き、数代後の城主鹿子木親員が、新しく茶臼山に城を築いて隈本城と呼びました。

豊臣時代に入って秀吉は全国を制覇するや小西行長と加藤清正に肥後を分領させたが、徳川の天下になると、加藤清正は肥後54万石の領主となり、慶長6年から茶臼山に築いていた新城を隈本城から熊本城に改めました。熊本市が町としての体制を整えたのは、このころからです。続いて細川忠利が肥後の領主となり、大政奉還までの二百有余年を細川家が政治を行ってきました。

明治10年西南の役で兵火を受け、市街地の大部分を灰燼に帰したが、直ちに復興し、明治22年には熊本市が誕生しました。大正から昭和にかけては隣接町村を合併しつつ熊本市の基礎を固め、九州における政治・経済・教育の中心地として発展を続

けました。その後、昭和20年には大空襲で、終戦後の復興期にあった28年には未曽有の大水害によって、市街地は壊滅的な被害を受けました。しかし全市民の不断の努力によって、困難を克服した熊本市はその後数次にわたる市域の拡大や近代的都市機能の集積を行い、近時では平成3年2月1日、飽託郡の北部町、河内町、飽田町、天明町と合併し、人口約63万人、面積約266平方キロメートルの新熊本市が誕生しました。

更にこの合併を機に「ヒューマンシティくまもと」の実現のため「熊本市基本構想」を策定し、これを基に「熊本市総合計画」を定め、「水と緑の人間環境都市」「いきいきとした市民福祉都市」「活力あふれる交流拠点都市」「風格ある文化創造都市」の4つの都市像を目標とし、新たな一歩をふみ出しました。

そして、平成5年には、これまで培った都市の総力を結集して、「火の国フェスタ'93」を開催し、124万人を越える入場者と、404億円を上回る経済波及効果をもたらすなど、大きな成果を挙げ、将来への飛躍の礎を築きました。



鎮台花畑本営と熊本城、現在の市民会館前から撮影したもので大小天守閣が見える。明治5年頃。

西暦	大化 646	大化2年 砂取付近に肥後の国府および兵力4軍団が設置される
文明	1469	文明1年 菊池氏一族、出田秀信千葉城を築く
明応	1496	明応5年 鹿子木親員、古城に居城を移し、隈本城と称する
慶長	1601 1607	慶長6~12年 加藤清正、現在地に熊本城を築き、河川の築堤、井戸の掘削など行う
寛永	1632	寛永9年 細川忠利、肥後藩主となる
宝暦	1754 1756	宝暦4~6年 藩校時習館、医学学校再春館、蕃滋園(薬草園)などが創設される

明	1870	明治3年 古城に医学学校が創設される
	1871	4年 廃藩置県により熊本県が設置される 鎮西鎮台(九州および中国西部を管轄)が設置される 熊本洋学校が創立される
	1874	7年 九州最初の新聞、白川新聞が発行される
	1877	10年 西南の役、市街地の大半が兵火により焼失した
	1886	19年 熊本通信管理局(郵務・電務関係)が設置される
	1887	20年 第五高等中学校(九州に1校)が創立される
治	1889	22年4月 市町村制が施行され、熊本市が誕生する 市域面積5.55km <sup>2</sup> 、人口42,725人、戸数11,797戸、市議会議員数30人、市職員48人であった
		6月 赤十字社熊本支部設立 新南千反畑町、現在の白川公園前に市役所が開庁



新南千反畑町の旧区役所跡に熊本市役所が開庁した。



明治20年古城に新設された第五高等中学校は、同22年立田山麓の黒髪に移転。

1890	明治23年10月 教育勅語発令(井上毅と元田永孚が成案)
	11月 第1回帝国議会が開かれる
1891	24年7月 門司・熊本間の九州鉄道が開通 熊本電燈会社が開業し九州に初めて電燈がともる
	11月 ラフカディオ・ヘルン(小泉八雲)五高に着任
1892	25年4月 塘林虎五郎が貧児寮(現大江学園)を設立
1894	27年7月 第6師団に動員令がくだる 孤児・貧児の養育を目的とした天使園が設立される
	8月 日清戦争がはじまる
1895	28年11月 イギリス人ハンナ・リデル女史が回春病院設立
1896	29年4月 夏目漱石が五高に着任、熊本を森の都と称賛
	9月 私立医学学校が設立される
1898	31年1月 熊本専売支局が黒髪町に葉煙草専売所設置
	10月 フランス人、ジョン・メリー・コール神父が癩救済の待済院を設立 この年、市立避病院設立(後の白川病院) 第23連隊練兵場が山崎町から渡鹿に移る
1899	32年6月 私立医学学校が熊本医学専門校となる

1899	32年12月 三角線開通
1900	33年7月 市内に大洪水、白川の橋ほとんど流失し、子飼橋付近溺死者多数
1901	34年1月 熊本郵便局が電話業務を開始



明治34年に市内の電話が開通した。交換手の白い上衣、紫袴は当時の女性の憧れだった。

1902	35年11月 明治天皇をお迎えし、陸軍特別大演習を挙行 行幸橋を架設
------	--



旧熊本城南大手入口の下馬橋。明治35年11月の陸軍大演習の際、行幸坂、行幸橋が造られ姿を消した。

1903	36年3月 市区改正の事業と新市街の事業完成
------	---------------------------

1904	37年2月 日露戦争はじまり、第6師団出征
1906	39年3月 熊本高等工業学校設立
	9月 夏目漱石が「草枕」を発表
1907	40年7月 九州鉄道が国有となる
	12月 熊本軽便鉄道株式会社が安巳橋・水前寺間に軽便鉄道を敷設



軽便鉄道。K.K.T.Kは熊本軽便鉄道株式会社の略。

1908	41年2月 人力車争議おこる
1909	42年 鹿児島本線全線開通
1910	43年1月 薬学専門学校発足
	4月 女子師範学校発足
	6月 熊本ガス株式会社が開業する
1911	44年4月 市立実科高等女学校開校 市立工業徒弟学校開校
	10月 菊池軌道株式会社が上熊本・広町間敷設

- 大正
- 1913 大正2年 この年、熊本軌道が田崎・百貫港、田崎・高麗門に開通
  - 1914 3年7月 第1次世界大戦はじまる
  - 1915 4年11月 御大典記念奉祝共進会を開催
  - 1916 5年6月 県公会堂が市に移管される
  - 1917 6年3月 熊本市工業従弟学校が熊本商工学校となる
  - 1918 7年7月 このころより全国に米騒動
  - 1920 9年10月 第1回国勢調査で、市人口70,388人(市史) 戸数 13,817戸
  - 1921 10年6月 隣接11ヶ町村を合併、人口133,467人 戸数23,819戸の大熊本市が発足(黒髪・池田・花園・島崎・横手・春日・古町・本荘・春竹・大江・本山)



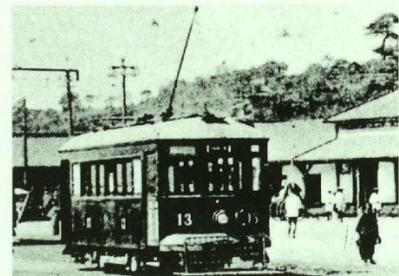
大正10年、隣接11ヶ町村を合併し大熊本市が発足した。記念碑前で合併を祝う人たち。

- 大正
- 1922 11年4月 熊本市立実科高等女学校が熊本市立高等女学校となる
  - 5月 熊本医学専門学校が医科大学に
  - 1923 12年12月 手取本町に市役所新庁舎完成



大正12年12月、市役所新庁舎完成。

- 大正
- 1924 13年8月 市営電車開通(車輛15台) 開通に伴い鉄筋コンクリート大甲橋を架設



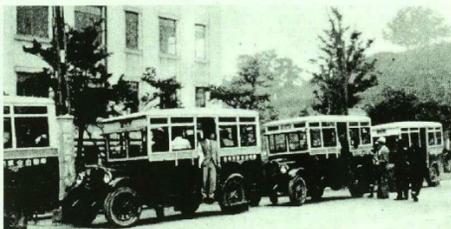
大正13年8月1日市電開通。救助網がついている開通当時の13型電車。

- 大正
- 10月 歩兵第23連隊が渡鹿に移転
  - 11月 熊本市上水道完成



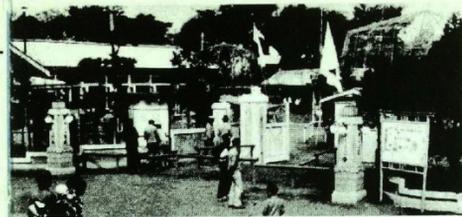
大正末の市街地。合併による市域の拡大、三大事業の完成など、市の中心から周辺へと都市づくりが進む。

- 昭和
- 1925 14年3月 市三大事業(市電、上水道、23連隊移転)完成記念共進会開催 入場者133万人
  - 4月 出水村を市に合併
  - 1926 15年8月 三大事業完成記念共進会の剰余金で五高と下河原にプールを造成
  - 1927 昭和2年2月 長六橋を近代式鉄橋に架け替える
  - 7月 市立工業研究所(後の工芸指導所)が開所
  - 12月 市営バス発足(バス17台) この年、市及び市付近の人力車812、乗用馬車4、自動車115



昭和2年12月から17台の市営バスが走り始めた。(写真は昭和8年6月)

- 昭和
- 1928 3年2月 第16回総選挙、最初の普通選挙行われる
  - 6月 NHK熊本放送局でラジオ初放送
  - 9月 御大典記念事業として、陸上競技場・野球場が完成
  - 1929 4年7月 水前寺動物園が開園
  - 1930 5年3月 熊本市歌を制定



昭和4年7月に水前寺動物園が開園。

- 昭和
- 1930 5年4月 市営勸業館が新市街に開館
  - 10月 市公会堂新館が開館



昭和4年市市民会館の出現に伴い取りこわされた。

- 昭和
- 1931 6年6月 白坪村を市に合併
  - 11月 天皇陛下をお迎えし、熊本平野等で陸軍特別大演習を挙行
  - 1932 7年9月 失業救済の土木事業をはじめ
  - 12月 画図村を市に合併
  - 1933 8年3月 花園町に市営墓地を開設
  - 4月 熊本高等小学校が再設開校 熊本駅に観光案内所を設置
  - 1935 10年3月 新興熊本大博覧会を開催



昭和10年3月から5月にかけて開かれた新興熊本大博覧会。

- 昭和
- 1936 11年11月 健軍村を市に合併
  - 1939 14年4月 清水村を市に合併
  - 1940 15年12月 川尻町、日吉村、力合村を合併 この年、市営バスに木炭車登場
  - 1941 16年4月 小学校が国民学校に改められる
  - 12月 太平洋戦争はじまる
  - 1942 17年4月 九州日日新聞と九州新聞が統合され、熊本日日新聞が発足
  - 1943 18年 この年、学徒、女子挺身隊の戦時動員が開始される 健軍に三菱重工航空機製作所が完成する
  - 1944 19年3月 市電気局が市交通局と改称
  - 1945 20年6月 市立本荘産院が発足
  - 7月 7月・8月の空襲で市の大半が焦土と化す
  - 8月 終戦の詔書放送
  - 1946 21年2月 市立市民病院発足
  - 11月 日本国憲法公布(新憲法) この年、学校給食はじまる
  - 1947 22年4月 市長、県知事が初めて公選で決まる 国民学校が小学校にまた新制中学が誕生
  - 5月 憲法、地方自治法施行
  - 1948 23年3月 市消防本部設置 市立母子寮を開設

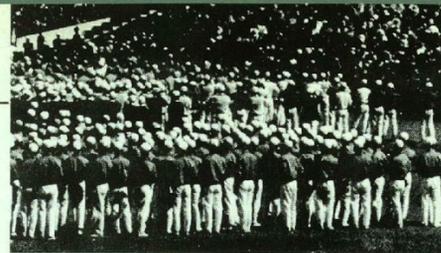
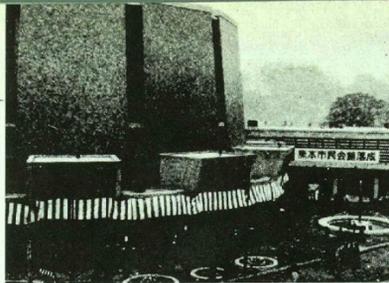
- 昭和
- 1948 23年3月 市自治警察本部設置(新警察制度発足)
  - 4月 新制高等学校発足する
  - 1949 24年4月 「火の国まつり」はじまる 市立実務員養成所(後の実務商業)を開設
  - 5月 天皇后陛下ご来熊 この年、国立熊本大学発足 県立熊本女子大学が創設される 市立熊本保健所を上林町に開設
  - 1950 25年6月 朝鮮戦争おこる
  - 7月 市競輪事業開設 熊本市立産院開設
  - 1951 26年4月 市教育研究所を設置
  - 1952 27年1月 市立博物館開館
  - 7月 住民登録制度を実施
  - 1953 28年4月 田迎村、御幸村を市に合併
  - 6月 豪雨、大水害で市人口の66%が罹災



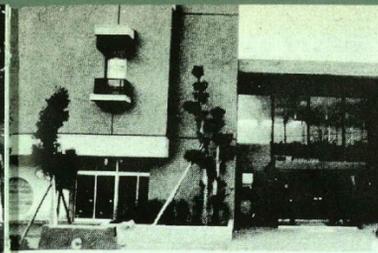
「昭和28年6月26日」大水害の惨状。到る所泥の山。流失した家財などで復旧に多くの人手、資材と日数を要した。(上通り筋)



昭和43年1月6日市民会館が完成。一、八〇〇人収容の大ホールと各種の会議室を備えた近代建築。



昭和35年10月、第15回国民体育大会は、全国から1万3千人が集まり盛大に開催された。



昭和52年9月 東部市民センター開設。



昭和53年8月、熊本の新しい夏まつり、市民総参加の「火の国まつり」が始まる。



産業文化会館



昭和54年10月1日、市制90周年の記念すべき式典の席上で中国桂林市と友好都市締結。

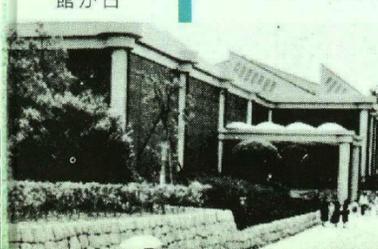
- 1953 28年7月 池上村、高橋村、城山村を市に合併
- 10月 市立図書館発足 ラジオ熊本開局
- 1954 29年6月 市自治警察廃止（警察制度改正）
- 10月 秋津村を市に合併 市電30年記念「交通観光博覧会」を開催
- 1955 30年4月 松尾村を市に合併
- 1956 31年4月 託麻村の一部を市に合併
- 1957 32年1月 小島町、龍田村を市に合併
- 7月 大水害で市の33%が浸水し、金峰山周辺の山津波で死者、行方不明多数を出す
- 1958 33年2月 NHK熊本テレビ開局
- 4月 中島村を市に合併 天皇后両陛下ご巡幸で立田山、水前寺などを観覧 第30回選抜高校野球大会で済々饗が優勝
- 9月 熊本市体育館が水前寺公園横に完成
- 1959 34年4月 国民年金制度発足
- 7月 国民健康保険制度発足
- 1960 35年4月 熊本空港開設
- 5月 愛市憲章を制定
- 8月 熊本城天守閣再建完成

昭和35年9月、83年ぶりに熊本城天守閣が再建された。

- 1960 35年9月 第15回国民体育大会を開催
- 12月 西保健所を開設
- 1962 37年3月 天守閣再建記念「躍進熊本大博覧会」開催
- 1963 38年4月 北部清掃事業所開所
- 1964 39年4月 市総合計画策定（マスタープラン）
- 10月 「まちをキレイにする運動」がはじまる
- 12月 東部汚水処理場完成
- 1965 40年4月 市食肉センター開所 この年、市内全小学校にプール完成
- 1966 41年9月 西部清掃事業所開所 市民相談室を設置
- 10月 熊本保健所が九品寺1丁目に新装発足
- 1967 42年3月 出水町に県庁新庁舎が完成
- 1968 43年1月 市民会館開館
- 4月 市社会教育会館が開館 市育英奨学制度創設
- 1969 44年4月 熊本（水辺）動物園が完成し、「熊本動物大博覧会」を開催
- 8月 熊本市章さきまる
- 1970 45年11月 託麻村を市に合併
- 1971 46年4月 新熊本空港開設
- 5月 市勤労青少年ホーム開館

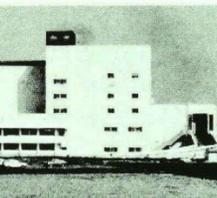
昭和46年6月、熊本・植木間の高速自動車道が開通した。

- 6月 九州縦貫自動車道（熊本・植木間）開通
- 7月 熊本市基本構想さきまる
- 11月 市立ユースホテル開館
- 1972 47年10月 「森の都」を宣言し、森の都作戦を展開
- 12月 秋津下水処理場が完成
- 1973 48年1月 戸島町に市斎場開設
- 5月 学校給食東共同調理場が完成
- 1974 49年6月 勤労婦人センターを本山町に開設
- 10月 西部、南部市民センターが完成 森の都のシンボルとして市の木「イチョウ」、市の花「肥後ツバキ」がさきまる
- 1975 50年5月 身体障害者福祉モデル都市に指定される
- 9月 南千反畑町に中央老人福祉センターが完成
- 10月 市立金峰山少年自然の家が開所
- 1976 51年3月 「地下水保全都市」を宣言
- 1977 52年4月 西南の役百周年記念式典を行う
- 5月 熊本市人口が50万人を突破



- 52年9月 錦ヶ丘に東部市民センター完成 地下水保全条例を制定する
- 1978 53年4月 新しい熊本博物館が開館
- 8月 市民総参加の「火の国まつり」が誕生
- 1979 54年4月 東部清掃工場完成
- 昭和54年4月、最新の処理機能を誇る東部清掃工場完成。
- 54年4月 新熊本市市民病院開設
- 7月 熊本市保健センター開設（現東部保健センター）が開所 龍田市民センター完成
- 10月 「健康都市」を宣言 中国・桂林市と友好都市締結 市制90周年記念式典を行う 養護老人ホーム明生園開園
- 1980 55年6月 身障者福祉センター希望荘開設
- 8月 水害で約16,900人の市民の罹災者を出す
- 12月 熊本市総合計画基本構想さきまる
- 1981 56年1月 熊本市保健衛生研究所開設

郷土熊本に根ざした西日本一を誇る熊本博物館が昭和53年4月1日に開館した。



昭和54年4月、最新の処理機能を誇る東部清掃工場完成。

- 2月 熊本城西大手櫓門復元完成
- 3月 産業文化会館が開館
- 5月 託麻市民センター完成
- 7月 熊本市総合計画基本計画さきまる
- 8月 西ドイツ・ハイデルベルク市へ友好訪問団を派遣
- 10月 熊本市民の翼、友好都市桂林市を訪問
- 11月 新市庁舎建設完成
- 1982 57年6月 幸田市民センター完成
- 7月 北部保健センター開設 小楠記念館完成
- 青少年野外活動センター完成
- 8月 西ドイツ・ハイデルベルク市管楽五重奏団来熊
- 11月 図書館完成
- 1983 58年4月 龍田体育館完成
- 1984 59年5月 市の鳥としてシジュウカラ制定 扇田埋立処分場供用開始
- 7月 清水市民センター完成
- 8月 熊本市の人口が55万人を突破
- 昭和56年11月 新市庁舎完成。



- 10月 消防新庁舎完成
- 1985 60年6月 母子福祉センター完成
- 8月 秋津市民センター完成
- 1986 61年1月 熊本市自転車駐車場完成
- 3月 電子計算システム始動
- 4月 西部清掃工場完成・東部清掃事業所開所
- 7月 総合体育館・青年会館開館
- 8月 第4回全国都市緑化くまもとフェア開催（8月1日～10月12日）
- 10月 10月1日を「市民健康の日」と制定
- 12月 新西保健所開設
- 1987 62年4月 川尻下水処理場運転開始
- 5月 「ふれあいの森林」内に森林学習館がオープン
- 7月 南部市民センター開設
- 9月 西消防署が移転新築 教育センターオープン
- 10月 第1回熊本緑化祭開催
- 12月 米国・サンアントニオ市と姉妹都市締結
- 昭和62年9月、教育センターオープン。
- 昭和62年12月、米国サンアントニオ市と姉妹都市締結。



熊本市・サンアントニオ市 姉妹都市締結調印式



平成元年4月  
流通情報会館完成



平成元年10月1日  
市制100周年記念式典



水資源国際会議



ハイデルベルク市との友好都市締結の調印式



市立高校「和敬館」



長寿の里デイサービスセンター

昭

- 1988 63年1月 くまもと女性フォーラム'88開催
- 2月 シルバー人材センター発足
- 4月 大阪事務所オープン



女性消防士誕生

和

- シンボルマーク発表会
- 長堀通り開通
- 7月 大江市民センター完成
- 8月 江津湖まつり(マイソング発表会)
- 10月 くまもと緑化祭・地場産業振興フェア開催

平

- 1989 平成元年1月 坪井川リバーウォーク構想発表
- 3月 市議会で飽託郡四町からの合併請願採択
- 4月 「熊本百彩」開幕
- 流通情報会館完成
- 「水源かん養林記念植樹祭」
- 5月 サンアントニオ市に「熊本園」完成
- 6月 託麻北小学校に屋上プール完成
- 8月 金糸猴一般公開
- 南部保健センター開設
- 9月 宇土櫓・数寄屋丸二階御広間完成
- 動物資料館完成

平

- 熊本城フェスティバル
- 10月 歴史都市サミット開催
- 11月 大阪で「くまもと農産物フェア」開く

1990

- 平成2年3月 政治倫理条例制定
- 4月 「総合婦人会館・カルチャーセンター」がオープン



総合婦人会館  
カルチャーセンター

成

- 武蔵塚公園が新たに開園
- 5月 川尻下水処理場汚泥焼却場完成
- 6月 中国・桂林市、アメリカ・サンアントニオ市、ドイツ・ハイデルベルグ市を迎え「水資源国際会議」を開催
- 8月 花園市民センターがオープン
- 市民長寿社会憲章制定
- 9月 平成学園オープン
- 10月 「熊本桂林友誼館」が落成
- 第1回女性問題全国会議開催
- 「水の科学館」が開館
- 11月 第3回地場産業振興フェア開催

1991

- 平成3年2月 熊本市と飽託郡四町が合併



水の科学館

平



熊本市・飽託郡四町合併記念式典

熊本市と飽託郡四町が合併

平

- 3月 熊本市基本構想策定
- 4月 2歳児未満の医療費が無料に
- 「市立総合ビジネス専門学校」が移転開校
- 「五福地域開発センター」が落成
- 武蔵塚公園に「清靖亭」完成
- 5月 本荘犬渕線立体交差開通
- 6月 「南部総合スポーツセンター」がオープン
- 「みかんの里振興センター」オープン
- 「天明コミュニティセンター」オープン
- 7月 在宅歯科検診制度発足
- 「くまもと工芸会館」がオープン



くまもと工芸会館

成

- 9月 台風19号来襲



台風19号の被害

平

- 1992 平成4年1月 熊本市総合計画基本計画策定
- 3月 高規格救急車が消防局に配備
- 4月 熊本城周遊バスがスタート
- 上通休日専用駐車場、駐輪場のオープン
- 5月 ハイデルベルク市との友好都市締結の調印式
- 「上高橋団地」が完成
- 7月 平成駅の開業
- 8月 熊本駅前北地区第一種市街地再開発事業完了
- 市立高校「和敬館」落成
- 市内4か所で地域コミュニティセンターがオープン
- 9月 水産指導所がオープン
- くまもと環境フェア'92を開催
- 10月 動植物園内に「熊本・桂林友誼亭」が完成
- 11月 「長寿の里デイサービスセンター」が完成
- 南部第一土地区画整理事業完了

成



熊本・桂林友誼亭

幸島公園



1993

- 平成5年2月 幸島公園地下駐車場が完成
- 環境総合計画まとまる
- 3月 熊本港が一部開港



熊本港が開港

- (助)国際交流振興事業団設立
- 4月 熊本港背後地整備基本構想策定
- 力合・龍田両中学校が開校
- 熊本岩田屋に市民サービスコーナーがオープン
- 5月 インポートフェア開催
- 7月 希望荘デイサービスセンターオープン



希望荘デイサービスセンター

- 8月 保田窪放水路完成
- 新熊本市史発刊
- 9月 熊本城天守閣がリフレッシュ
- レトロ調の市電・市バスが運行開始

リフレッシュした熊本城天守閣



- 地域福祉コミュニティセンターが市内5か所でオープン
- 「大名屋敷・旧細川刑部邸」が完成



大名屋敷・旧細川刑部邸

- 駐車場案内誘導システムがスタート
- 10月 「火の国フェスタ・くまもと'93」が開幕



火の国フェスタ・くまもと'93

- 透明ごみ袋によるごみ出し制度スタート
- ハイデルベルク市と「医療基金」協定に調印
- サンアントニオ市とエイズ対策で共同宣言
- ゆうあいピック熊本大会開催



昭和63年4月  
長堀通り開通